



八上校区福祉委員会 委員長 澤田之良

八上校区は、小寺、菩提、東大饗、西大饗、北府住、南府住の6地区から成り立っております。北府住、南府住の集合住宅と小寺、菩提、東大饗、西大饗の旧村落の地元住民と新たに住民となった人々との融合する地域です。当は、社会福祉協議会よりの援助金を頂き、それにより活動を行っております。

地域住民の身近な相談や情報の提供を行い、誰もが気軽に立ち寄れて、自由に交流し、仲間ができて集いの場を提供する活動を行っております。



地域活動が自由に開催できます。旧来の地域コミュニティが復活し、安心して地域活動が行える事を、祈念致しております。

編集・発行
八上校区福祉委員会
<http://fukushi.yakami.org/>
info@fukushi.yakami.org

北府住地区福祉委員会



今年度の活動内容については、ふれあい喫茶・いきいきサロンでは感染状況を考慮して参加者全員でホールでの飲食は行わず、お菓子等を持ち帰るといったことで対応したことも数回ありました。集会所まで来ることはたとえ百メートル前後でも歩くことになり、足やストレッチ解消にもなるかなと思えます。

コロナ発生から3年が過ぎて、ようやく以前の状態に戻りつつあるように感じます。昨年度はコロナに振り回されて、計画の半分も実施できませんでした。今年度はふれあい喫茶の中止が1回あっただけですが、令和5年1月時点。



確認できますので、民生委員の方も安心できることだと思えます。いきいきサロンやふれあい屋食会で実施していた行事については、ポツチャ(6月)・包括支援センターの講習会(11月)等を実施しました。

実施することになりました。8月中止になったいきいきサロンの代替として1月に1回目の実施、2月に2回目の実施(当初計画どおり)ということになりました。

南府住地区福祉委員会



コロナ、コロナで早3年、南府住では、早アピュロイ・ふれあい喫茶・ポツチャと年々参加者が少なくなってきました。みんなコロナが怖くて大勢の集まる場所には来られなものでしょう。

年の5月〜10月に6回行った脳トレプラス教室には15名、18名の方が健康推進の講習会に参加してくれました。



山の方に福祉活動に参加していただけるよう役員一同努力する所です。

かるがも親子応援隊



スタッフは6人、年9回はボランティアさんや美原にしこども園、保健センターさんに助けていただいで活動しています。

今年度の「かるがも親子応援隊」は、4月から4月まで無休で皆勤賞でメンバの入れ替わりは有るもの



小寺地区福祉委員会

12月、いきいきサロ
ン開催 小寺地区
「地域包括支援セン
ター」でどんなことを
しているの」
ワクチン接種、マス
ク着用、消毒の徹底、
アクリル板越しの対
面、また感染者数の増
減に一喜一憂する生
活になってから3年経
とうとしています。こ
の制限された不自由
な生活に私たちは慣
れてきたようにも感じ
ますが、「いつになつた
ら普通の生活に戻れ
るのか、はやく戻りた
い」、すべての人が切実
に願っていることと思
います。

小寺地
区の「ふれ
あい喫茶
&ビュ
ー」、「い
いきサロ
ン」は参加
者の安全を
第一に考
え、コナ
感染防止
対策をし
て開催し
てきました
が、感染者
が急増し
た8月は



中止せざるをえませ
ん。毎年12月の「い
いきサロ
ン」は美原区地
域包括支援センターの
担当者をお招きして、
社会問題になっている
「高齢者の詐欺被害」
や「安心連絡シート」
の活用」などについて
のお話を聞いてきまし
た。今年度はテーマ
「地域包括支援セン
ター」でどんなことを
しているの」で12月20
日に18名の参加で実
施しました。寸劇をし
ながらわかりやすく
説明をしていただきま
した。

包括支援センター
は福祉関係の仕事をし
ているところと漠然
とは知っていても、
具体的にどのようなサ
ポートしてもら
えるのかを知らな
い人は多いよう
です。

毎日の生活で
困ったことが起こつ
た時に、どこに相談
したらよいかわか
らないうちから、高
齢者が多いよう
ですが、このセン
ターは高齢者が安
心して生活するた

め、強い味方になつ
てくれるサポート機
関であることを理解
できました。

今回のいきいきサ
ロンは参加者が地域
包括支援センターを
身近に感じ心強くな
った、大変有意義な
ものになりました。

年末から年始にか
けてコナ感染者と死
亡者が急増し、特に
高齢者の方は不安な
毎日を送られている
こと
と思います。

新年からの福祉活
動はコナ感染対策を
より徹底し、小寺地
区の皆さんが安心し
て参加できる楽しい
行事にしていきたいと
考えています。

菩提地区福祉委員会

昭和、平成、令和と元
号が改元されましたが、
人間の営みは、何も変わ
る事なく時を刻んでおり
ます。

時代と共に
物質的に
は豊かに
なりました
が、家族関
係、社会構
造の激変
で、地域社
会が果たす
役割が、大
きく変化せ
ねばならな
い時代にな
りました。

2020
年、年初か
らの武漢コ
ナ感染
は、世界中



を大混乱させまし
た。

我々の日常に
も、多大な影響を
及ぼし、里帰りさ
え制限される不
自由になりました
。少しは、改善
されたものの、自
由に活動できる状
況ではありません。

「ふれあい喫茶
&ポランテ
ィア
ビューロー」、「い
いきサロ
ン」は、
地域の住民が気
軽に集える場をつ
くり、「仲間づくり・出
会いの場づくり・健康
づくり」を目指して
います。

普段、知っていても
聞かずにいること
が、集える場で、
気軽に話せること
が、弾む事もある
と思います。

何気ない会話か
ら、心があらわれ
、楽しく明るい笑
顔を生活で過せる
キッカケに役立
てて頂ければと思
います。

今こそ、地域の重
要性を、再認識し
たいと思っていま
す。

今年度は、新型
コナ感染
化の中、「ふれ
あい
喫茶&ポランテ
ィア
ビューロー」

い
いきサロ
ン」の活動は緩和され
つつあります。

そんな中でも、世代
交流は、夏祭りは、中
止を余儀なくされ関係
者の皆様には、ご迷
惑をお掛けしまし
ました。

開催時は、感染対
策として、検温、マ
スク着用、消毒、換
気、部屋の掃除、消
毒品の消毒、アクリ
ル板の設置等、皆様
のご協力の下、実施
致しました。

又、堺市社会福祉協
会から特段の指導の
ない限り開催する事
、中止の場合は、緊
急回避看板にて告
知する事を、案内し
ております。

毎月、皆様の笑顔
で再開、出来る事を
、祈念して
おります。

東大饗地区福祉委員会

東大饗地区の福祉
活動(いきいきサロ
ン、ふれあい昼食会、
ふれあい喫茶&ビ
ューロー、世代間交
流)の活動内容と年
間予定回数です。

◎いきいきサロ
ン(年4回)は、外部
からの講演や講師を
招いて楽しく過ごせ
る場の提供をしてお
ります。この活動は
会場が狭く密になり
易い関係もあり、コ
ナ禍の事を考えて十
分な活動は行えませ
ん。

◎ふれあい昼食会
(年2回)は、一人暮
らした高齢の方
に民生委員より呼
びかけてお誘いをし
、食事をしながら情
報交換をしており
ます。

◎ふれ
あい喫茶&
ビューロー
(年10回)は、誰も
が気軽に立ち寄れ
て、自由に活動がし
やすいよう



交流をし仲間がで
きる集いの場の提供
や、市民生活に関す
る情報の提供と相談
の場として活用して
おります。

◎世代間交流は、
子育て中の親や子供
たちがごども館に集
まり、ふれあい交流
を図る活動ですが、
小さい子供さんもお
られるコナ禍の関
係で十分な活動は行
えませんでした。

上記の活動を通し
て誰もが平等で、健
康で幸せに暮らせ、
気軽に立ち寄り、自
由に交流し、仲間の
提供、地域住民の身
近な情報提供等のお
手伝いをしていただ
いて活動を行って
おります。

3年越しの
コナ禍により活動
の内容も変わりつつあ
ります。(手の消毒、
体温測定、マスク着
用、樹脂板の設置、
換気)等により活動
がしにくい状況に
なっています。

又活動の内容も制
限されマンネリ化し
つつありますがその
様な環境でも皆さん
は現状を把握し、コ
ナ予防をして我慢し
ながら活動に参加
されております。

今後コナ禍のワク
チン接種が進み感
染者が減少し、コ
ナ禍が治まれば以
前の様子のびと内
容の充実した活動が
出来ると思いま
す。早くコナ禍が
治まる事を願うば
かりです。

西大饗地区福祉委員会

コナ禍のなかでの
日常生活は様々な制
約が続いています。
福祉活動も高齢者
を中心とした地域
の皆さんの協力を
得て、感染防止を
重視して進めて
まいりたいと思
います。

ふれあい喫
茶&ビュー
ロー(毎月実
施)は、参加
者が馴染み
のある人た
ちの愛好さ
れたいと思
います。

また、まだ
だ工夫をし
て新たに地
元の隣人(参
加者)が馴染
みのある人
たちを呼び
寄せたいと
思っています。



加資格に制限はあり
ません)にきつかけ
作りをしていき
たいです。ビュー
ローでは行政や
地域の情報、時
にはポッチャ
競技を楽しむ
D鑑賞など、参
加者の希望で
柔軟な進行を
してまいりたい
です。

一人暮らしの隣
人の集いとして、
ふれあい昼食会
(2回)を実施
しました。

集いは新たな参
加者がある一方
、加齢のために
福祉施設に入所
する方がいて、
地域の高齢者
世帯の実情を
反映しています。

参加者の皆さん
は、一人ひとり
の自立心が強
く、隣人との
会話を途切れ
る様子もなく
、楽しく、活
躍的に参加さ
れています。

3回目は12月
納会として「薩
摩琵琶の集い」
を開催し、83
歳の女性奏者
から(赤穂義士
、壇ノ浦)の二
つの演題を
36名の参加者
が熱演するよう
に聞き惚れ、感
情の高まりを
押しつ、琵琶を
しつとり堪能
しました。残り
は3月に行うこ
として、福祉委
員一同皆さんの
ご支援を受けて
準備していきま
す。

ものストレッチ体
操を楽しんで
もらいました。
2回目は10月
にヤクルトの
健康出前授業
として「スト
レスと身体の
健康」を教
わり、コナ
禍における
生活の中での
ストレスを
取り除き
ながら、リ
ラックスした
生活リズム
を作ることを
学びました。